

百年の信頼を未来につなげる

# 2013年3月期決算説明会

株式会社鳥羽洋行

2013年5月29日

証券コード: 7472

- 1. 会社概要**
- 2. 2013年3月期決算概況**
- 3. 2014年3月期業績予想・事業戦略**
- 4. 当期の営業方針**



# 1. 会社概要

## 百年の信頼を未来につなげる

### 社 是

- 1 ▶ 当社は社会人類に貢献するためにある
- 2 ▶ 当社は社員の向上と幸福を計るためにある
- 3 ▶ 当社は最大ならずとも、最良の会社たることを期する
- 4 ▶ 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する
- 5 ▶ 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく

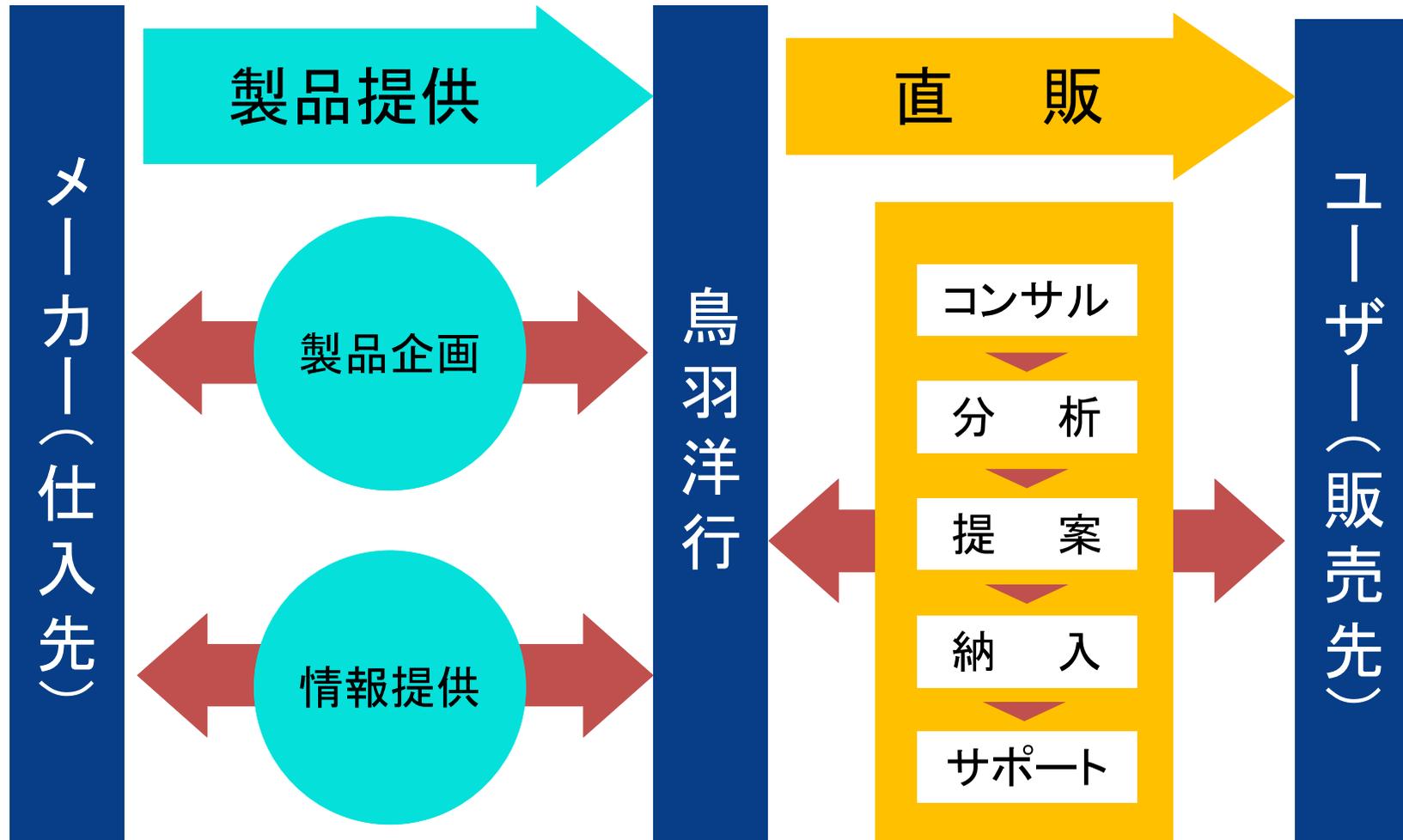
信用第一主義を貫く

## 当社の概要

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 社名    | 株式会社 鳥羽洋行 (TOBA, INC.) |
| 本社所在地 | 東京都文京区水道2丁目8番6号        |
| 創業    | 1906年(明治39年)9月15日      |
| 設立    | 1949年(昭和24年)12月14日     |
| 代表者   | 代表取締役社長 三浦直行           |
| 資本金   | 11億4,800万円             |
| 売上高   | 181億円(2013年3月期)        |
| 従業員数  | 195名(2013年3月末)         |
| 上場市場  | 大阪証券取引所JASDAQスタンダード    |
| 証券コード | 7472                   |

# 当社のビジネスモデル

独自の直販体制で顧客の「稼げるものづくり」をフルサポート



# 当社の強み

## 独自の直販体制

- 優れたユーザー情報収集力
- 短い受注納品リードタイム

## 卓越した専門スキル

- 専門商社としての長い歴史
- 知識・経験豊富な従業員

## 強固な顧客基盤

- 我が国の代表企業と取引
- 幅広い顧客業種でリスク分散

## 健全な財務体質

- 高い自己資本比率
- 低い在庫水準





## **2. 2013年3月期決算概況**

# 決算ハイライト

▲5.4%

売上高はデジタル家電、半導体製造装置産業等の設備投資低迷で前年比5.4%減収

▲15.2%

営業利益は、原価率上昇をコスト削減でカバーできず前年比15.2%減益

▲12.1%

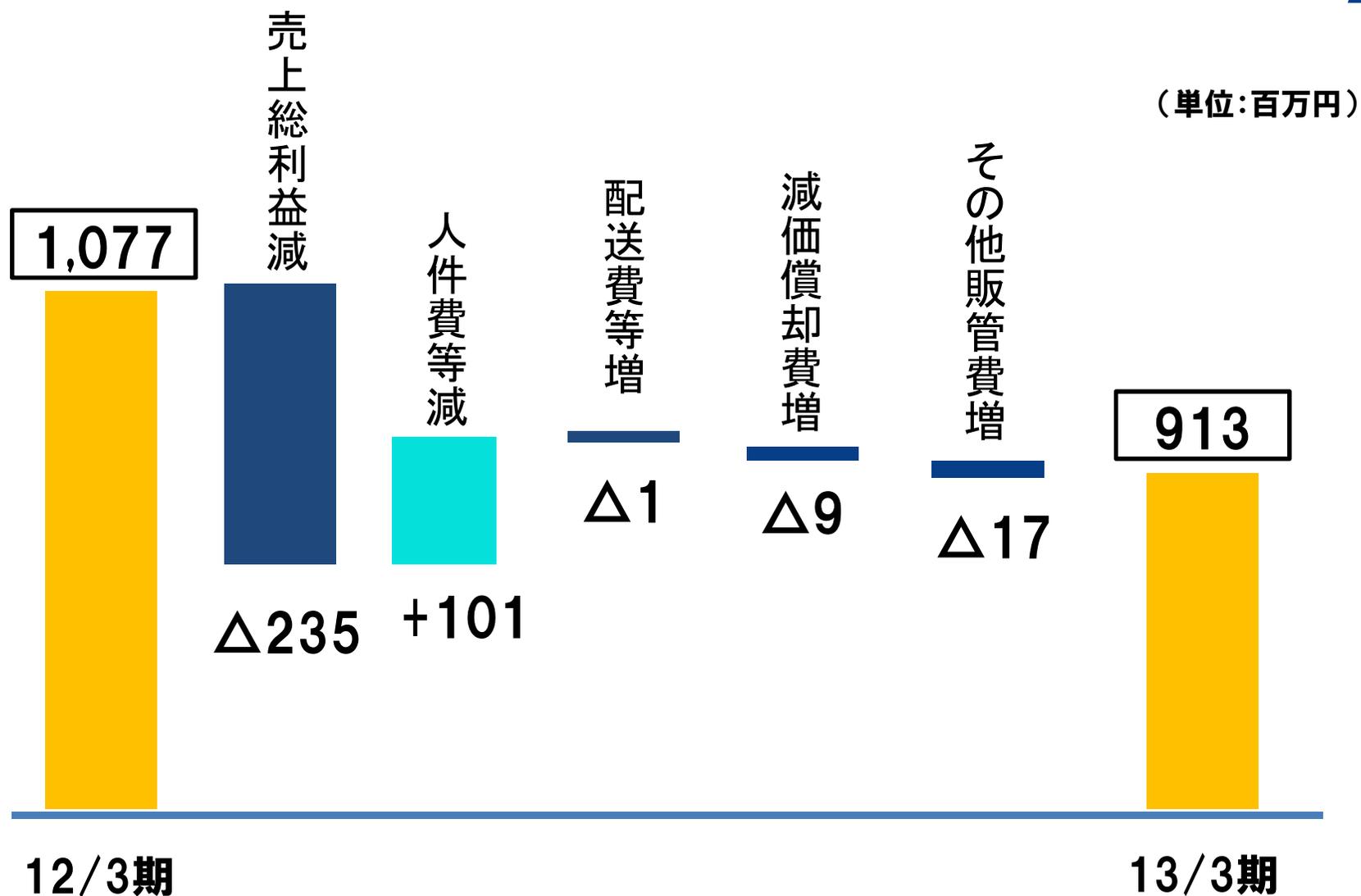
当期純利益は、営業利益の低迷で前年比12.1%減益

# 損益概要

(単位:百万円)

|         | 12/3期<br>実績 | 13/3期         |         | 前回予想   | 前回予想比   |        |
|---------|-------------|---------------|---------|--------|---------|--------|
|         |             | 実績            | 前年比     |        | (増減額)   | (増減率)  |
| 売上高     | 19,180      | <b>18,151</b> | ▲5.4%   | 20,000 | ▲1,848  | ▲9.2%  |
| 営業利益    | 1,077       | <b>913</b>    | ▲15.2%  | 1,100  | ▲186    | ▲16.9% |
| (営業利益率) | (5.6%)      | (5.0%)        | (▲0.6p) | (5.5%) | (▲0.5p) |        |
| 経常利益    | 1,163       | <b>1,004</b>  | ▲13.7%  | 1,200  | ▲195    | ▲16.3% |
| (経常利益率) | (6.1%)      | (5.5%)        | (▲0.6p) | (6.0%) | (▲0.5p) |        |
| 当期純利益   | 665         | <b>585</b>    | ▲12.1%  | 700    | ▲114    | ▲16.4% |

# 営業利益増減分析



# 四半期売上高・営業利益推移

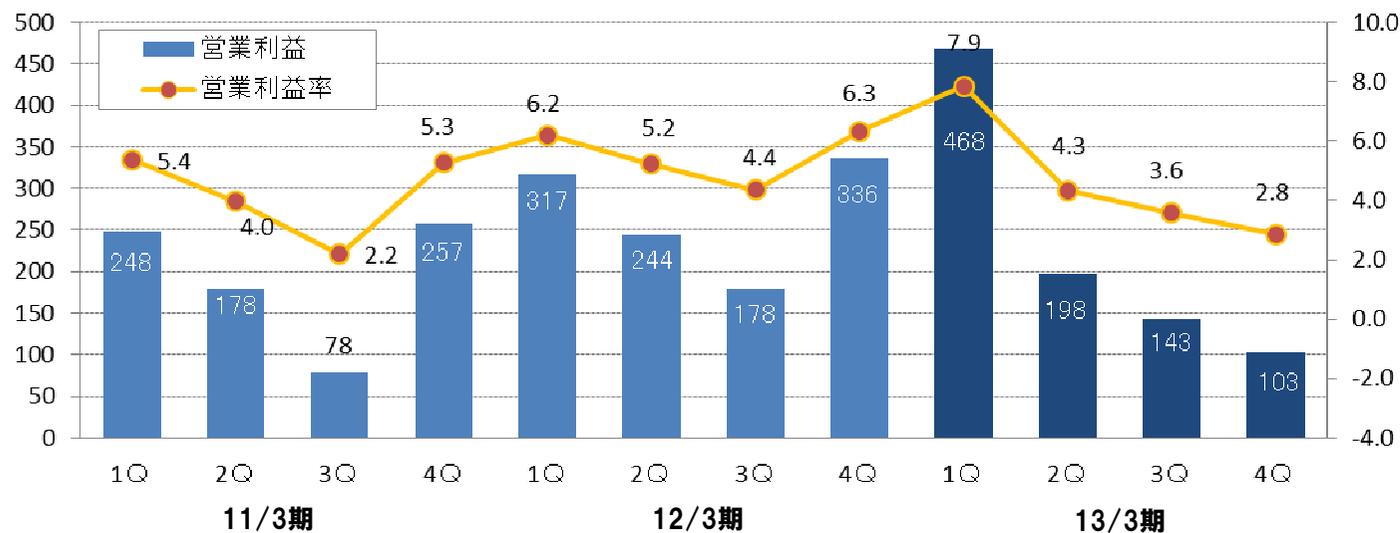
(単位:百万円)

## 四半期売上高推移



(単位:百万円)

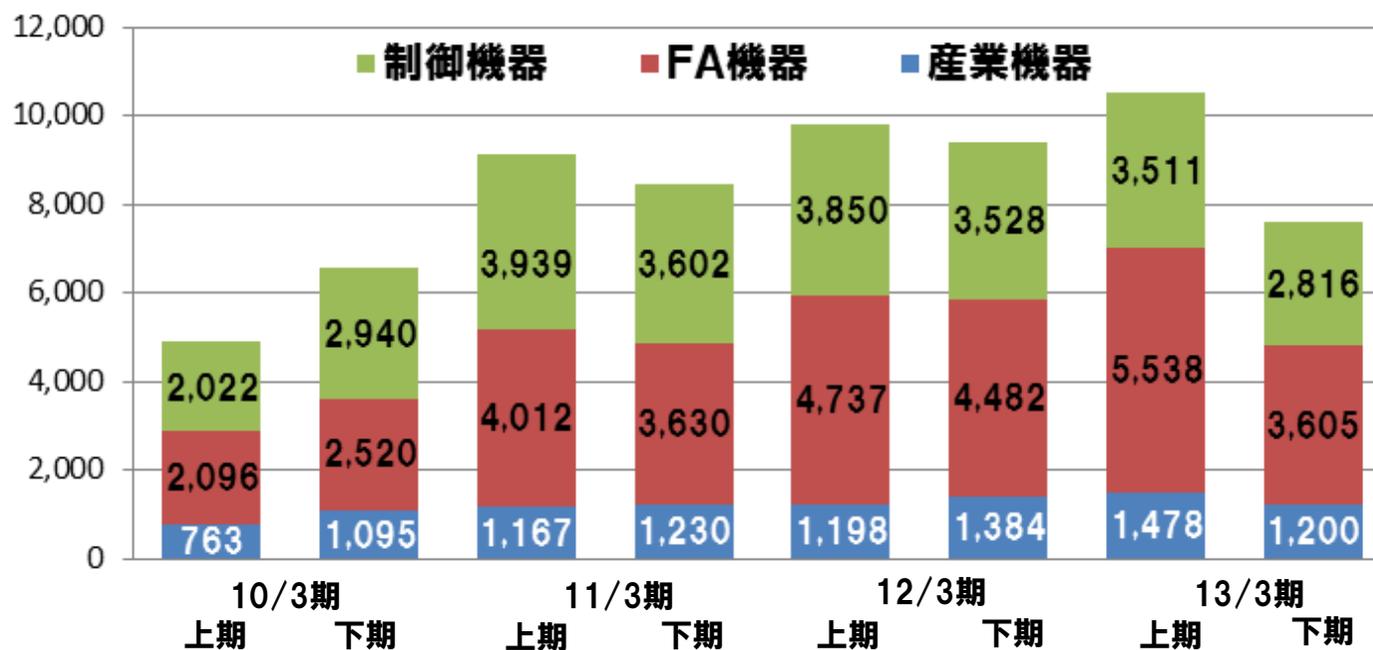
## 四半期営業利益・営業利益率推移



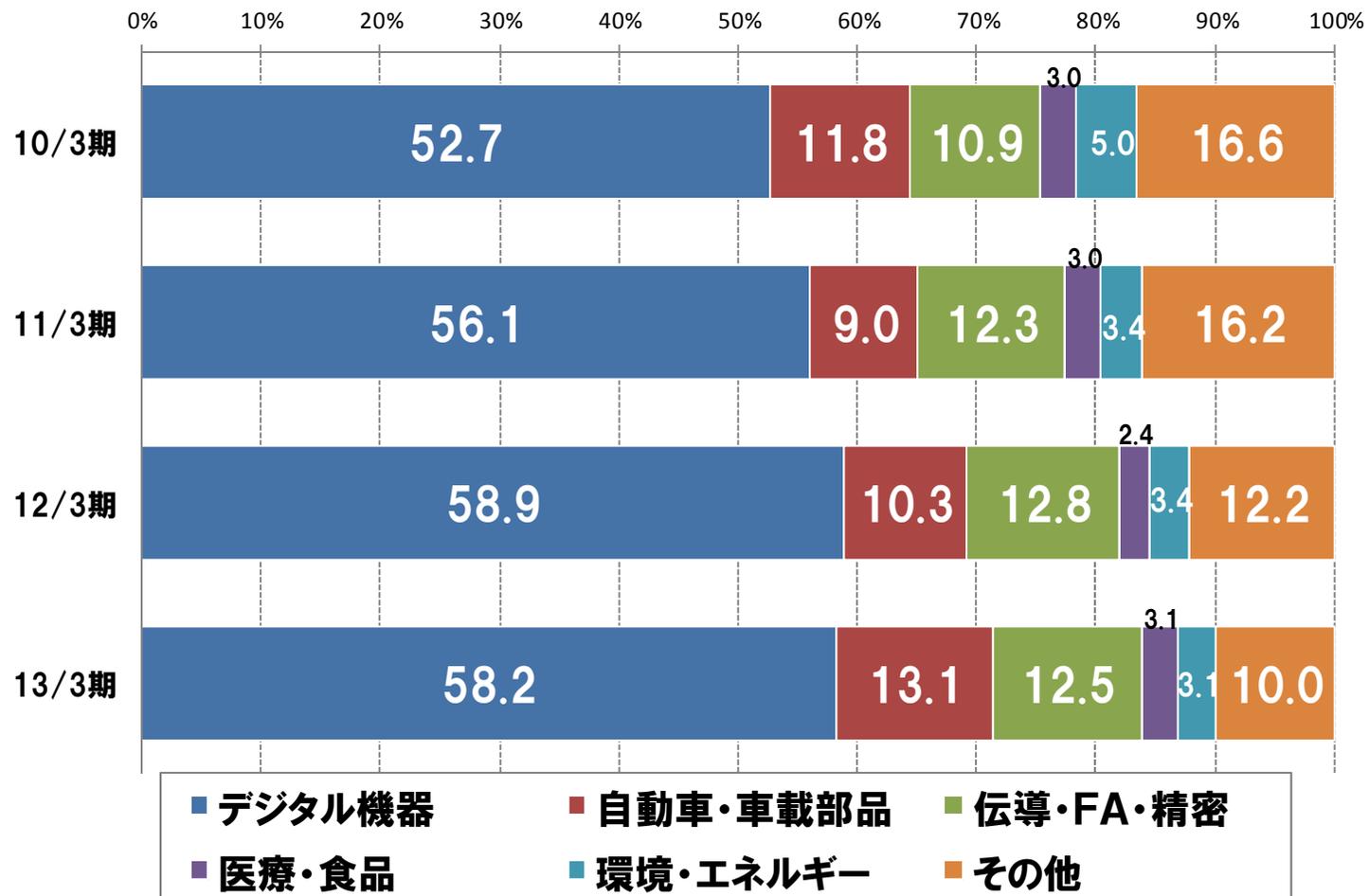
# 取扱商品別売上高推移

(単位:百万円)

|        | 12/3期  | 構成比    | 13/3期  | 構成比    | 前年比    |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        |        |        |        |        | (増減額)  | (増減率)  |
| 制御機器   | 7,378  | 38.5%  | 6,328  | 34.9%  | △1,049 | △14.2% |
| F A 機器 | 9,219  | 48.1%  | 9,144  | 50.4%  | △75    | △0.8%  |
| 産業機器   | 2,582  | 13.4%  | 2,678  | 14.7%  | +95    | +3.7%  |
| 全社計    | 19,180 | 100.0% | 18,151 | 100.0% | △1,029 | △5.4%  |



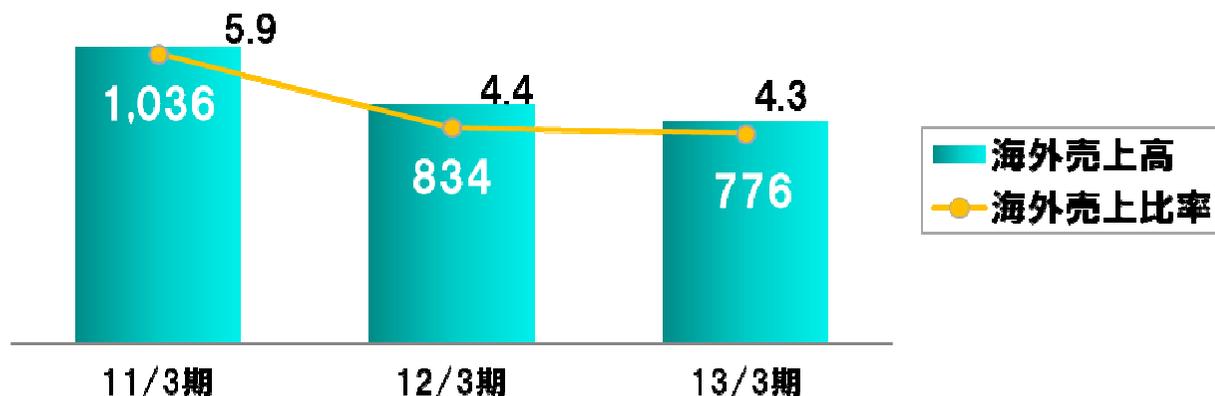
# 販売先業種別売上構成比



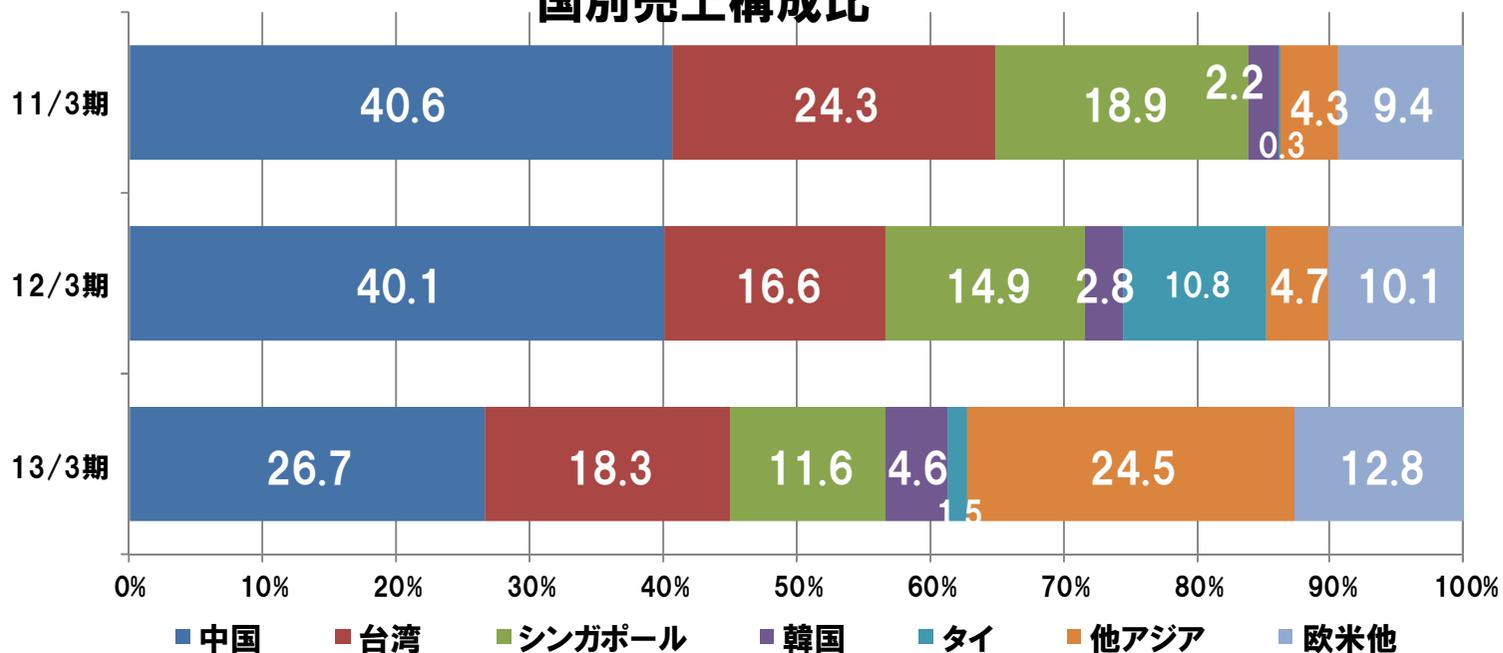
# 海外売上高推移

## 海外売上高・海外売上比率

(単位:百万円・%)



## 国別売上構成比



(注)中国は香港を含む

# 貸借対照表

(単位:百万円)

|           | 12/3末  | 構成比    | 13/3末  | 構成比    | 増減額    |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 流動資産      | 13,935 | 74.9%  | 13,955 | 75.3%  | +20    |
| 現金・預金     | 6,060  | 32.6%  | 7,854  | 42.4%  | +1,793 |
| 受取手形・売掛金※ | 7,655  | 41.2%  | 5,958  | 32.1%  | △1,696 |
| 商品        | 68     | 0.4%   | 38     | 0.2%   | △29    |
| 固定資産      | 4,665  | 25.1%  | 4,575  | 24.7%  | △90    |
| 資産合計      | 18,601 | 100.0% | 18,531 | 100.0% | △69    |
| 流動負債      | 5,124  | 27.5%  | 4,644  | 25.1%  | △480   |
| 支払手形・買掛金  | 4,510  | 24.2%  | 4,266  | 23.0%  | △243   |
| 固定負債      | 163    | 0.9%   | 189    | 1.0%   | +25    |
| (有利子負債)   | (0)    | (0.0%) | (0)    | (0.0%) | —      |
| 負債合計      | 5,287  | 28.4%  | 4,833  | 26.1%  | △454   |
| 純資産合計     | 13,313 | 71.6%  | 13,697 | 73.9%  | +384   |
| 負債純資産合計   | 18,601 | 100.0% | 18,531 | 100.0% | △69    |

(※) 当期より電子記録債権を含む

# キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

|                | 12/3期 | 13/3期        | 増減額    |
|----------------|-------|--------------|--------|
| 営業キャッシュフロー     | △244  | <b>1,897</b> | +2,142 |
| 投資キャッシュフロー     | 191   | <b>△67</b>   | △258   |
| 財務キャッシュフロー     | △551  | <b>△237</b>  | 313    |
| 現金及び同等品に係る換算差額 | -     | -            |        |
| 現金及び現金同等物の増減額  | △604  | <b>1,593</b> | +2,197 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 5,560 | <b>7,154</b> | +1,593 |



### **3. 2014年3月期業績予想・事業戦略**

# 市場見通し

- 液晶、半導体は下期回復を想定
- 自動車・車載部品は、アジア向け輸出の拡大継続
- 医療及び環境・エネルギーは横ばいを見込む

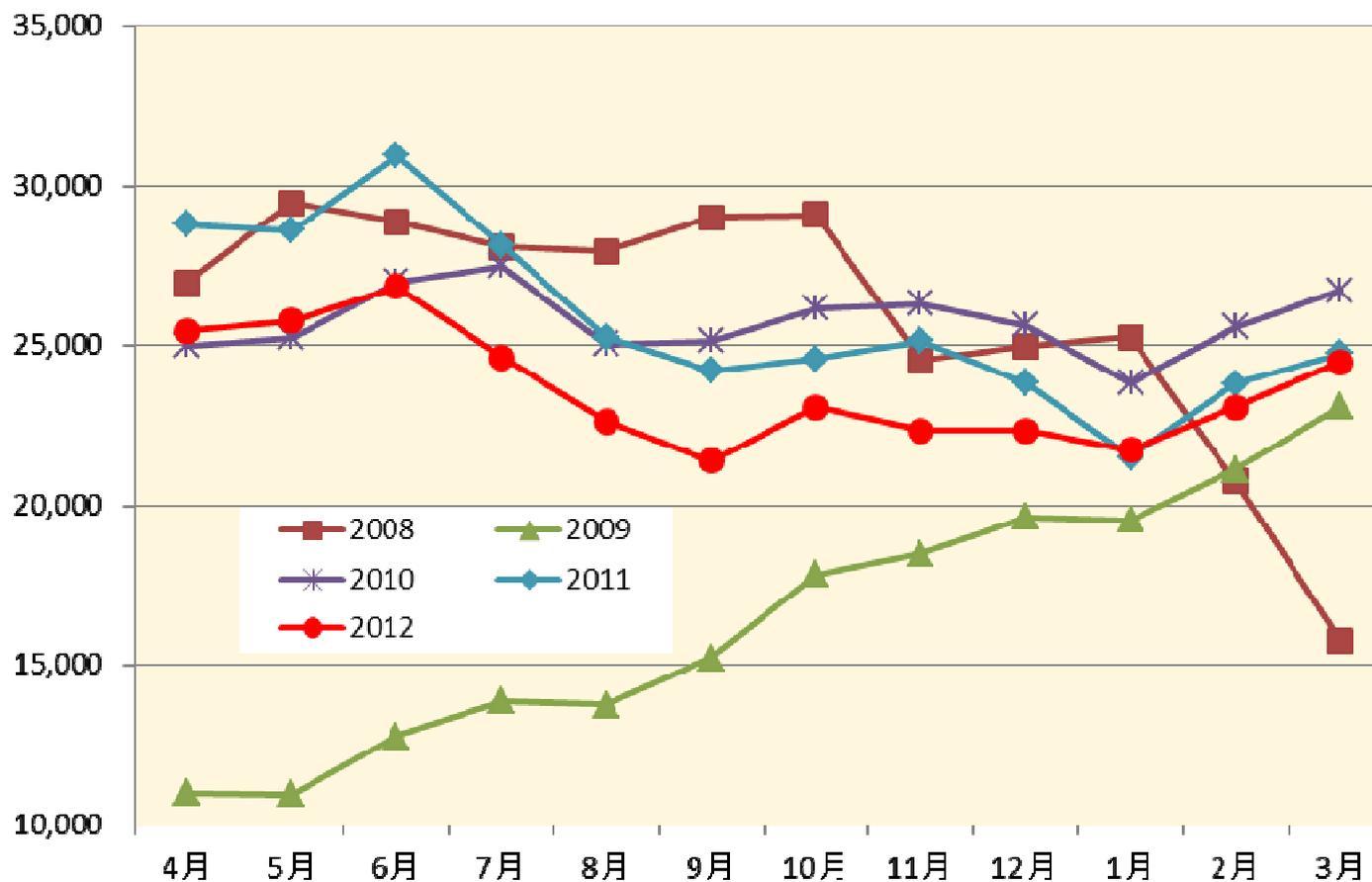
| 販売先業種    | 景況感 |    | 見通しコメント                                     |
|----------|-----|----|---|
|          | 上期  | 下期 |   |
| デジタル機器   | ➡   | ➡  | スマートフォンは堅調継続。<br>液晶、半導体需要の回復は下期の見込み。        |
| 自動車・車載部品 | ➡   | ➡  | 国内は上期横ばい。東南アジア向け輸出は好調<br>持続。下期は中国向け輸出回復に期待。 |
| 伝導・FA・精密 | ➡   | ➡  | デジタルカメラ、プリンター共に復調に遅れ。                       |
| 医療・食品    | ➡   | ➡  | 食品は横ばい圏だが、医療は堅調続く。                          |
| 環境・エネルギー | ➡   | ➡  | 経済対策の内需の回復でほぼ横ばい継続。                         |

# (参考)空気圧機器市場の見通し

## ■ 空気圧機器の需要は底打ち傾向

(単位:百万円)

空気圧機器月次出荷金額推移(年度)



# 2014年3月期業績予想

(単位:百万円)

|         | 13/3期<br>実績 | 14/3期<br>予想 | 前年比<br>(増減率) |
|---------|-------------|-------------|--------------|
| 売上高     | 18,151      | 18,500      | +1.9%        |
| 営業利益    | 913         | 950         | +4.0%        |
| (営業利益率) | (5.0%)      | (5.1%)      | (+0.1p)      |
| 経常利益    | 1,004       | 1,000       | △0.4%        |
| (経常利益率) | (5.5%)      | (5.4%)      | (△0.1p)      |
| 当期純利益   | 585         | 600         | +2.5%        |

# 2014年3月期取扱商品別売上高予想

(単位:百万円)

|        | 13/3期  |        | 14/3期  |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        | 実績     | 構成比    | 予想     | 構成比    | 前年比    |
| 制御機器   | 6,328  | 34.9%  | 7,100  | 38.4%  | +12.1% |
| F A 機器 | 9,144  | 50.4%  | 8,300  | 44.9%  | △9.2%  |
| 産業機器   | 2,678  | 14.7%  | 3,100  | 16.7%  | +15.7% |
| 全社計    | 18,151 | 100.0% | 18,500 | 100.0% | +1.9%  |

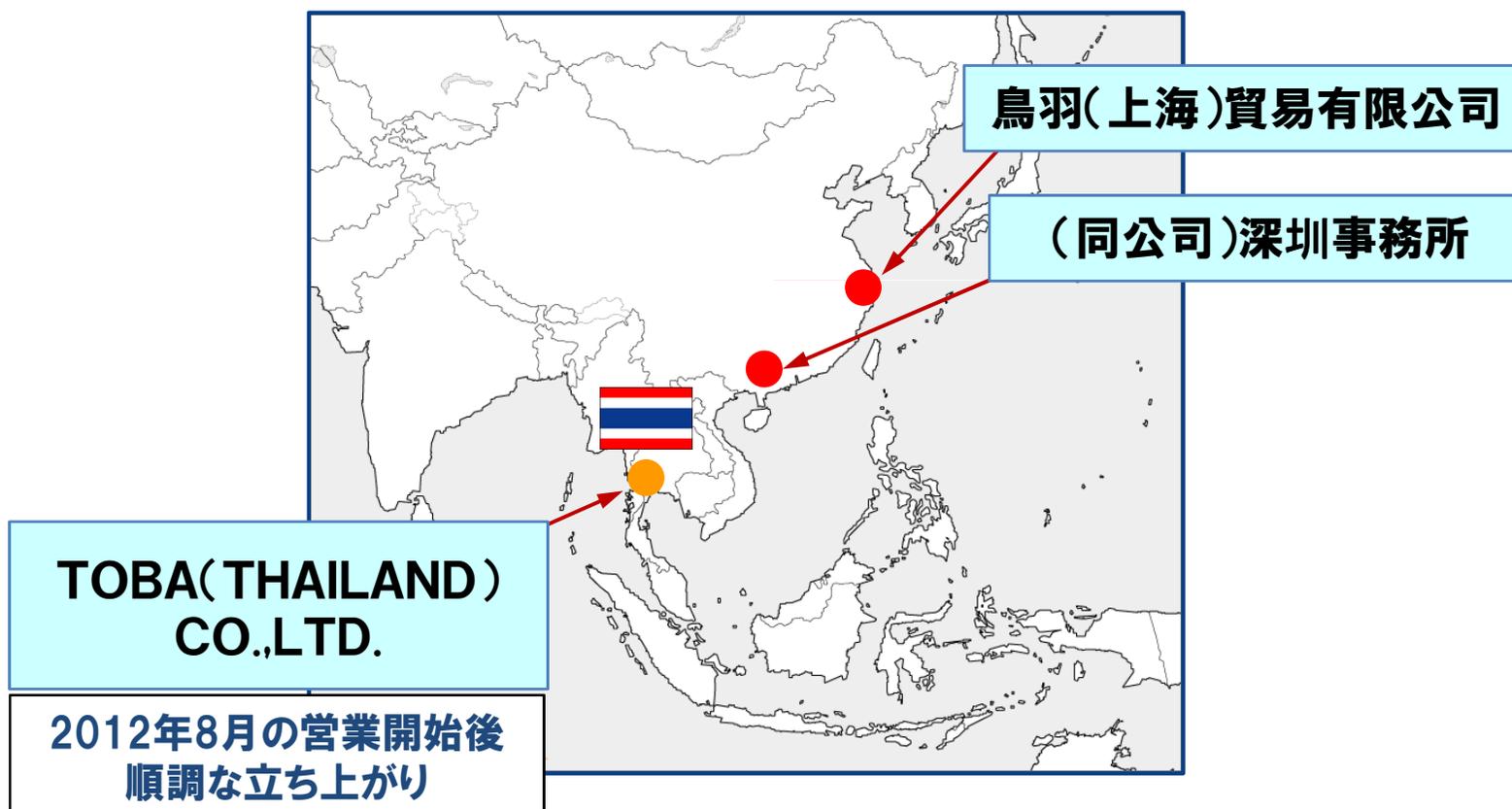
|        | 14/3上期 |        | 14/3下期 |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
|        | 予想     | 構成比    | 予想     | 構成比    |
| 制御機器   | 3,200  | 40.0%  | 3,900  | 37.1%  |
| F A 機器 | 3,500  | 43.8%  | 4,800  | 45.8%  |
| 産業機器   | 1,300  | 16.2%  | 1,800  | 17.1%  |
| 全社計    | 8,000  | 100.0% | 10,500 | 100.0% |

(注)四捨五入の関係で構成比合計は100%にならず

## 感動を顧客・仕入先に！

- 1 新たな成長分野の販路開拓
- 2 次世代に貢献する有望商品の発掘
- 3 海外戦略の強化
- 4 グローバル化に対応できる人材の育成・教育

## 人員増強を進める海外現地法人



# 株主還元策

## ■ 株主配当金

- 安定した経営基盤と堅実な財務体質を背景に長期的に安定した配当を目指す。
- 目標配当性向は30%。

|             | 配当金/株  | 当期純利益/株 | 配当性向  |
|-------------|--------|---------|-------|
| 2013年3月期実績  | 50.00円 | 123.22円 | 40.6% |
| 2014年3月期見込み | 50.00円 | 126.32円 | 39.6% |

## ■ 株主優待制度

| 対象株主<br>(3月末時点所有株式) | 継続保有3年未満                     | 継続保有3年以上                     |
|---------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1,000株以上            | 当社オリジナル・クオカード<br>(3,000円)を進呈 | 当社オリジナル・クオカード<br>(6,000円)を進呈 |
| 100株以上1,000株未満      | 当社オリジナル・クオカード<br>(1,000円)を進呈 | 当社オリジナル・クオカード<br>(2,000円)を進呈 |



## 4. 当期の営業方針

# 営業の状況

## 部門別の状況及び見通し

|             | 前期の状況  | 今期の見通し   |
|-------------|--|--|
| <b>制御機器</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートフォン関連は、得意先の設備投資需要が堅調。</li> <li>● 期後半からの回復を見込んでいた半導体製造装置関連は、得意先の需要回復に遅れ。大型液晶製造装置も得意先需要伸びず。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空圧機器は、半導体製造装置関係の設備投資復活時期がポイント。<br/>(下期の回復を見込む。)</li> <li>● 新商材「位置決めピン」：(株)コスメック、「検査機」：シナノケンシ(株)、パナソニック(株)等を拡販する。</li> </ul>   |
| <b>FA機器</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートフォン関連は、得意先向けの産業用ロボット、ファイバレーザー溶接機及びレーザーはんだ付けロボット等の需要が好調。</li> <li>● 自動車・車載部品関連は、得意先の自動化投資向け需要が堅調。</li> <li>● OA機器関連は、得意先からの需要が伸びず。</li> <li>● 得意先は全般的に、省力化・自動化ニーズが継続。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● FAロボット需要は今期も堅調続く。得意先全般に、省力化・自動化の設備投資は継続見込み。</li> <li>● マウンターは、下期から復活見通し。</li> <li>● 新商品の拡販推進<br/>「塗布装置」：武蔵エンジニアリング(株)<br/>「レーザーはんだ付けロボット」：(株)ジャパンユニックス<br/>「ファイバレーザー溶接装置」：ミヤチテクノス(株)</li> </ul> |
| <b>産業機器</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車・車載部品は、得意先向けの無人搬送車等の需要が堅調持続。</li> <li>● 包装機械関連は、得意先向け搬送システム需要も好調。</li> <li>● 新規の取り扱いのろ過フィルターの売上が寄与。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車・車載部品関連は、引き続き得意先需要堅調を予想。</li> <li>● 一部の半導体関連等は、得意先向けアルミフレーム等が上期から復活見込み。</li> <li>● 前期取り扱い開始の「ろ過フィルター」：日本インテグリス(株)は大型商品化に期待。</li> </ul>   |

# 開拓活動の定着

## 新規開拓活動の強化

- 営業全員が**営業開拓日**を設定
- 種蒔きだけに終わらず、**繰り返しのフォロー**の実行
- 当社が先行して情報入手し、**メーカーにフィードバック**  
(市場情報、設備情報、装置情報、用途情報 etc)

## 3S行動の徹底(市場・ユーザー・商品etc)

- 好調市場の**徹底した開拓**
- 好調業種の**横展開**(類似ユーザーへの展開)
- 引合い商品の**関連商品展開**及び**ユニット化**

# ネットワーク営業の推進

## 競合他社との差別化 (CPTHN活動の確立)

- 得意先ネットワークに合わせ、当社の**拠点間の連携を強化**。
- 得意先、仕入先の満足度を上げ、当社の存在価値を高める。

## 海外現法との情報共有化

- 連携による活動はポイント制とし、**評価の対象**とする。

# 重点商品のシェアアップ

## 重点商品の位置づけを上げる

- ・当社の強み商品となるべく成長させていく。
- ・**2016年3月期には重点商品シェアを60%まで引き上げる。**

## 独自キャンペーンによる重点商品拡販

- ・メーカーのキャンペーンに乗って活動するだけでなく、原則として当社独自の拡販策を適宜企画、実行し、**メーカーキャンペーンに参加する。**

# 差別化商品への注力①

## 差別化商品による認知度UP

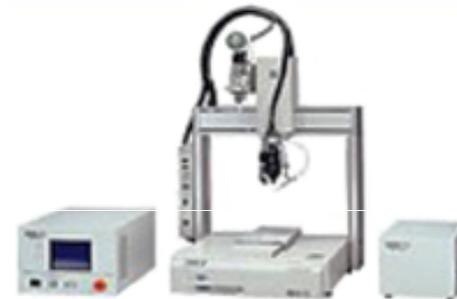
- ・販売店での扱い困難な商品に注力し、**他社との差別化**を図る。

- **ファイバレーザー溶接装置**  
ミヤチテクノス(株)



- **塗布装置**  
武蔵エンジニアリング(株)

- **レーザーはんだ付けロボット**  
(株)ジャパンユニックス



## 特機商品の販売拡大推進

- ・特機部に頼らない情報入手

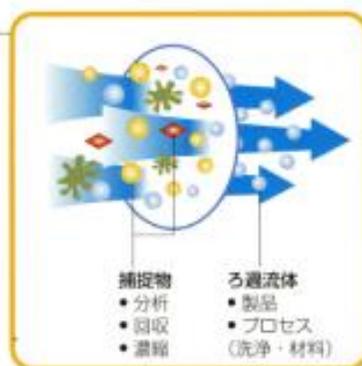
- **3D外観検査機**  
韓国コーヨンテクノロジー社



# 差別化商品への注力②

## ろ過フィルター 日本インテグリス(株)

### 日本インテグリスのコア技術



#### メンブレンによるろ過技術

- 液体(純水・薬液・溶剤など)、ガス・エアのろ過
- 薬液特性に対応したメンブレン化技術(材質、構造、孔径)
- 薬液からの脱気および注気
- 薬液の濃縮

#### 応用製品例

- フィルター



・液体、ガス・エアのろ過・精製・純化技術に係る製品

・半導体及びハイテク産業向けに販売強化

当期において、日本インテグリス株式会社と代理店契約(東京都及び関東8県における販売権を獲得)を締結し、新たに同社製品の取り扱いを開始しております。

- 自動車(CB活動)
- スマートフォン市場残需への展開
- 住設関連設備  
(スマートグリッド、HEMS/BEMS、蓄電池)
- 農業関連機械
- 医療、食品、福祉、医薬、物流、自販機

本プレゼンテーション中の将来の見通しにつきましては、当社の判断によるものであり、経済情勢、市場動向、税制や諸制度の変更等により、大きく変化するものであります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

### [問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部 総務グループ IR担当

住所：〒112-0005 東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

FAX番号：03-3944-4091

Eメール：kanri-01@toba.co.jp